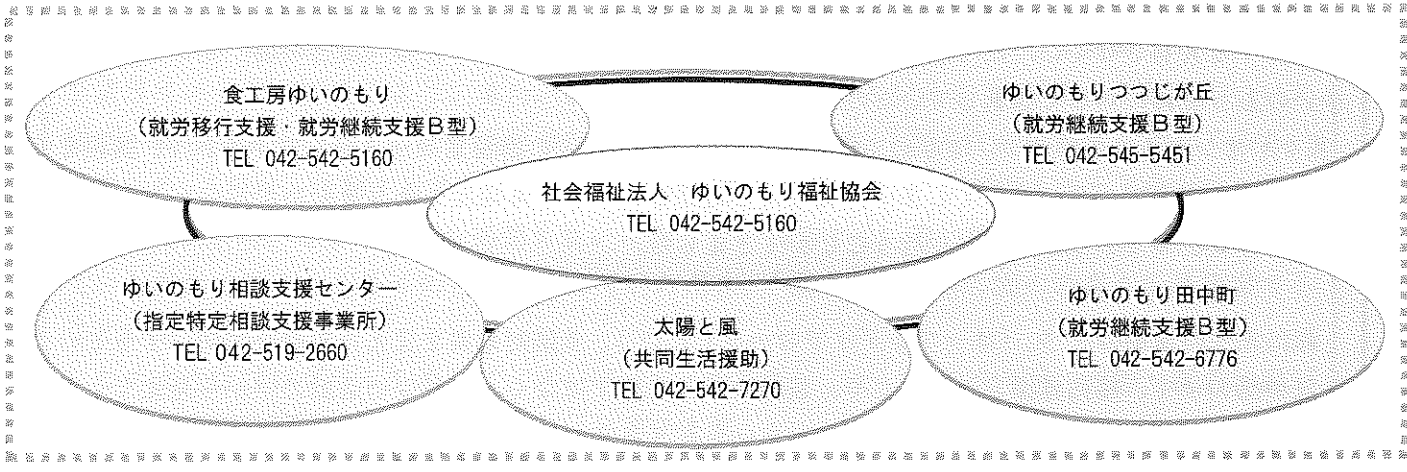


# ゆいのもり通信



所在地：〒196-0011  
東京都昭島市上川原町1-9-15  
電話：042-542-5160



## 苦悩がカタチを変えるとき

ゆいのもり福祉協会 理事 嶋田敦子

あけましておめでとうございます。皆様におかれましてもこの約1年、コロナ禍にあって「いのち」「健康」について考える機会が度々あったのではないのでしょうか？

私は健康上、2度の辛い体験（「食物アレルギー」「流産による体調不良」）があり、それを思い出しています。

「食物アレルギー」は動物性食品が影響するもので痒みが酷いため、何事にも集中できず平常心を奪われる毎日を過ごしていました。小学4年でやっと体に合う塗り薬と体質改善治療を受けることができ、皮膚の状態が良くなりました。直接は関係ないかもしれませんが、「収穫後農薬の無い国産小麦の製パンに進んだのは自分自身のアレルギー体験によるのではないか」と思っています。

YMCA で野外活動スタッフとして働いていましたが8年経ったとき、方向転換をしました。障がいのあるキャンパーから「地域で生活することと働くことの困難と大切さ」を教えていただいたからです。援護を必要とする方々の「製パン」を地域で実践することを夢見て製パン学校に入学、夢中で勉強しました。ところがある時、妊娠から流産となり卒業はできたものの、体調不良が酷く家から一歩も出られなくなりました。この時の苦しさや健康の回復にかかる時間の大きさは忘れることがありません。その後幸運なことに「ゆいのもり」と出会い「福祉×パン」作業所（当初の「食工房ゆいのもり」）開設準備に携わることになりました。

昨年11月に地域精神保健機構のメンタルヘルス講座「不安な時代を生き延びる（講師：糸川昌成先生）」をZOOMで視聴、医療社会学者アントノフスキーがナチスの強制収容所を生き延びた人々には苦難に意味を見出す傾向があったことを例にあげて、『不安や苦難』はあってはならないものではなく、意味や物語の中に位置づけることで適切な接近・回避行動をとらせる『道しるべ』になる」とお話をされました。

私の場合もそうなのかもしれないと思いました。苦悩でしかなかった自身の体調不良の出来事が、苦労や悲しみに直面している方々に出会い、何か一緒にできることは？と考える知恵になっているように思えるのです。このように当時の苦悩はカタチを変えて地域精神保健福祉に携わる今の私にとって、なくてはならない貴重な体験になっています。

### \* 目次 \*

◆嶋田理事からのメッセージ	1 P
◆職員研修会報告	
食工房お知らせ	2 P
◆「就労移行への取り組み」	
「滞在型グループホームについて」	
「嶋田理事ご挨拶」	3 P
◆「メンバー投稿」「編集後記」	4 P

# 森川すいめい先生講演会（職員研修報告）

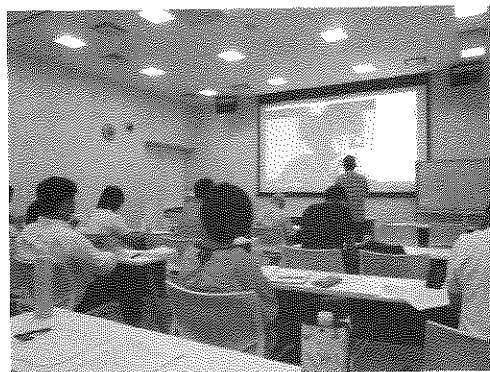
2020年9月5日、「どのように世界の役に立ちたいか、どんな社会問題を解決したいか～森川先生の活動とオープンダイアログに学ぶ」というテーマで、職員研修を実施しました。

本来であれば、昨年度の活動報告会を講演会という形にし、森川すいめい先生の講義を、地域の方々や関係の方々とは共有させていただく予定でしたが、残念ながら新型コロナウイルス流行の為、オンラインで、ゆいのもり職員に対して講義していただく形になりました。

我々がオンラインの操作と、はじめて借りたアキシマエンシスの講習室のシステムに不慣れで、講義を行えるまでの準備でバタバタしてしまい、先生にご迷惑をおかけする場面もありましたが、なんとか通信と機器がつながってからは滞りなく行うことができました。

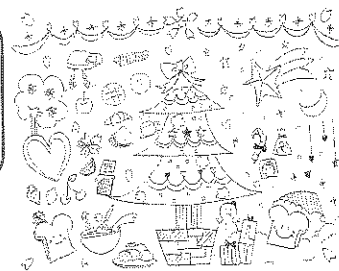
森川先生の活動の一つ、「オープンダイアログ」という、支援対象者を交えた対話を大切にするという手法の話の中で、権利意識を持つことや、目的のある会話ではなく、何気ない会話の中から見えてくるものなど、実際の支援に生かせる様々なヒントをいただきました。

森川先生はとても気さくな方で、どんな質問に対しても快くお答えいただき、話が尽きぬまま、研修終了になってしまいました。ゆいのもりの職員だけでお話しいただくには勿体ないお話も多く、まだ聞き足りない部分もあるので、新型コロナウイルス流行が収まった際には、今度こそ講演会を催させていただきますと思っています。



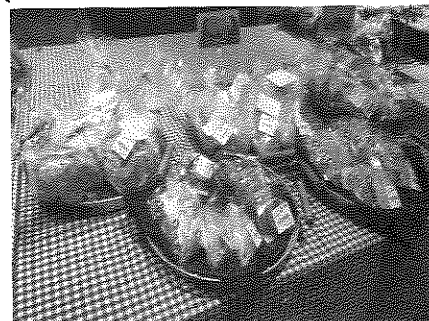
## 食工房ゆいのもりのパン

新たに2カ所で販売を開始しました！



### ① 「わくわく広場ららぽーと立川立飛店」

2020年9月29日（火）より、わくわく広場ららぽーと立川立飛店で一部の天然酵母パンと焼き菓子の販売をスタートしました。土曜日、日曜日、祝日も営業しておりますので、ららぽーとにお越しの際は、是非お立ち寄りください。なお、食工房での店頭販売価格とは異なります。また、数に限りがございますので、ご了承ください。



### ② 「プチひまわりの店（就労支援事業所麦わら帽子さん主催）」

プチひまわりの店は、毎月1回（3日間）、JR 青梅線・福生駅改札口を出て徒歩0分の福生市プチギャラリーで開催されるお店です。近隣の障害者事業所・団体等の手作り品を展示・販売しており、2020年11月より食工房のパンも販売させていただくことになりました。どうぞ気軽にお立ち寄りください。※月に1回（3日間）の販売になりますので、開催日程は「プチひまわりの店出店計画」で検索してご確認ください。

## 就労移行実績報告

2019年度は1名のメンバーが就労することができました。(職種：福祉職)

また、本年度は2名のメンバーが「東京障害者職業能力開発校」に入校し、ふたりとも事務職として就職が決まり、卒業しております。

就労に向けての新たな取り組みとして、毎月の就労プログラムとは別に、11月に「プチ就労プログラム」を開催しました。「働く」ことに少しでも興味があるメンバーを対象として、就労をよりイメージができるよう、また、就職を目指すきっかけとなるよう、「働くこと」について皆で一緒に考える内容でした。当日参加したメンバーからは、「働くためにも色々話してみたいと思った」「日々、活動することで、生活リズムが整うと思った」「なぜ働くのか？色々な人に聞いてみたい」等、様々な意見や感想を互いに話し合い共有する、良い機会となりました。予定していた参加人数よりも多くの方に参加していただき、「働くこと」への関心の高さを再認識することができました。

このようなプログラムを通して、メンバーの「働きたい」という気持ちを、実際に就労に結びつけられるよう支援を継続していきたいと思っております。

福祉職 1名 (2019年度)

事務・事務補助職 2名 (2020年度現在)

## 『滞在型グループホーム開設』

2021年春(4月開設予定)に太陽と風のユニットが増えます。

むぎ  
滞在型のグループホームで、ユニット名は『麦』です！  
定員6名(入居5名、ショートステイ1名)です。  
アパートタイプのお部屋で、家電等は備え付けになっております。

滞在型は利用期限がないので、ゆっくり時間をかけて、支援を受けながら、私たちと一緒に、地域生活を目指しましょう。

### ▼東京都共同募金からご寄付

食工房ゆいのもり 100,000円(備品設備)  
ゆいのもりつつじが丘 240,000円(備品設備)  
ゆいのもり田中町 170,000円(備品設備)

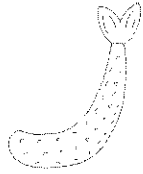
・食工房では乾燥機を購入いたしました。つつじが丘では、業務用冷蔵庫を導入致しました。田中町ではメンバー休憩室と厨房用のエアコンを買い換えました。  
ありがとうございました。

【ご挨拶】 定年退職 嶋田敦子 2021年3月31日付 (相談支援センター・つつじが丘 兼務)

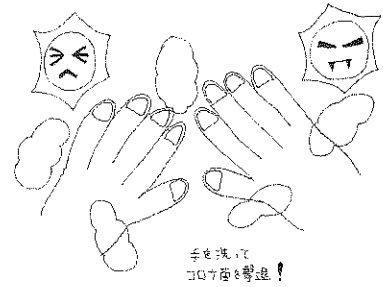
「食工房ゆいのもり(共同作業所を含め)」約23年間、「ゆいのもり相談支援センター」と「ゆいのもりつつじが丘」に約4年間おりました。「ゆいのもり」での27年間は昭島での暮らしと仕事を両立しながら愉しく充実した時間でした。地域、関係機関、ご利用者・ご家族、職員の皆様より、温かく支え教え導いていただいたご恩を大切に、今後は歩んでまいります。皆様お元気にお過ごしくださいませ。再会を祈りつつ。ありがとうございました。

# ゆいのもり メンバー投稿

●今年テーマを二つ設定いたしました。「私のコロナ対策」と「定額給付金の使い道」というテーマです。



## 私のコロナ対策

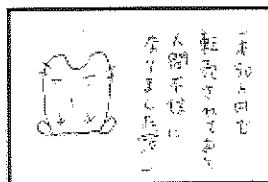
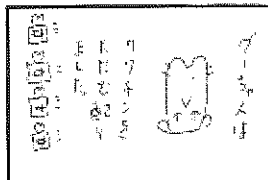
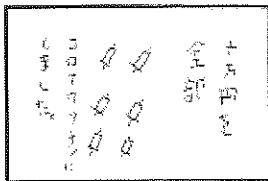
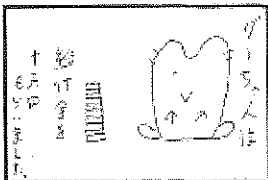


- ・散歩をした。
- ・除菌ジェルの持ち歩きをして使っている。(バスのあとなどに)
- ・買い物に行ったら手を必ず消毒
- ・混んでいる電車やバスにはなるべく乗らない。
- ・できるだけ早めに就寝、こまめに消毒・手洗い・うがい・マスク。
- ・体温計や石鹸を買った
- ・自宅で筋トレをしている
- ・繁華街に長時間いないようにする
- ・帰ってすぐにお風呂に入るようになった
- ・ニュースを必要以上見ないようにしています。

- ・部屋で3DSやCDを聴く(最近西城秀樹)
- ・安保徹さんという人が書いている免疫の本に身体をあたためるといいと書いてあったので、身体を動かすようにしています。お風呂もゆったりつかうようにしています。
- ・まずは手洗い、消毒、換気を忘れないようにしています。あとは好きな旅行もしばらくはお休みしようと思っています。お出掛けできなくてストレスを感じることはたまにあるけれどその分楽しみが増えてわくわくしています。2000ピースのジグソーパズルを買ってお家で楽しんでいます。
- ・お気に入りの柄の手作りのマスクをネットで購入しました。

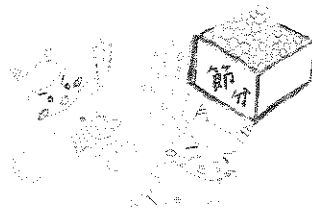
作：はやびー

ゲームソフトとポケモンカードを買った。



## 定額給付金の使い道

- ・ゲームソフトとポケモンカードを買った。
- ・友達のためにクリスマスプレゼントを買った。
- ・今、徳島県の鳴門のうずしおが見たくて貯金しているのでその中に少しだけ充てました。なので、予定より少しだけ早く旅行に行けそうで楽しみです。
- ・貯金と自分が欲しい物を買った。
- ・生活費やプレゼントを買った
- ・鰻を食べました



- ・景気を少しでも良くするため今まで欲しかった電気製品を買った。(何なのか秘密です。)
- ・半分はいつの間にか使ってしまいました。残りは貯金しています。
- ・貯金と自分が欲しい物を買った。
- ・ほとんど生活費です。
- ・貯金した
- ・掃除機を買った
- ・引っ越しの準備・自転車、タバコ、ゲーム、生活費などで一気に使ってしまった

スペースの関係ですべての投稿を掲載することができませんでしたが、みなさん様々な工夫でコロナ禍を乗り越えているんだなど感じました。ご覧になった皆さんも是非！参考に見てみてはいかがでしょうか。

編集後記...

原稿やイラストの協力をしてくださった方々、本当にありがとうございました。感染症対策で人と会えなくなってしまうのは本当にしんどいですね。一人での過ごし方を考えたり、人との連絡の仕方を工夫したり、みんな試行錯誤の日々です。(ツネオ)